

「公共建築の日」フェスティバル2010in北彩都

～シビックコア地区内の他施設のイベントとの同時開催～

取り組み内容

- 1 背景**：地域の特性を生かした賑わいのある都市の拠点として計画されたシビックコア地区の各施設との連携、協働を図り魅力的な地区の形成が求められている。
- 2 ねらい**：公共建築が地域の生活に密接に関わり、安全安心、街並み、景観へ寄与していることを理解してもらえよう。「公共建築の日」イベントを開催すると共に、地区内の他の施設（障害者福祉センター：おぴった）のイベントと同時に開催し、地域の賑わいを創設するものです。
- 3 取組内容**：(H18年度から継続)
家族で楽しめる参加型イベントとして、ダンボールシティ（ダンボールで家をつくり、皆でまちを作る）、ペーパークラフト作成及び耐力壁コンテストを行い、公共の営繕事業を紹介するパネル及び、模型の展示と气象台の観測機器等を展示する。
- 4 実施時期**：平成22年8月21日
- 5 実施場所**：旭川合同庁舎アトリウム、エントランスホール
- 6 実施主体**：北海道開発局営繕部
- 7 協働主体**：「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会、旭川地方气象台、北海道、旭川市、（独）道立総合研究機構北方建築総合研究所、（社）日本建築家協会北海道支部、（社）北海道建築士会、（社）北海道建築士事務所協会、（社）旭川建設業協会、（財）北海道開発協会
- 8 取組における各者の役割**
 - ・ 営繕部、旭川開発建設部：イベントの企画、調整、運営、事業パネルなどの展示
 - ・ その他の団体：イベントの運営、事業パネル及び模型等の貸し出し



ダンボールにて作成中



ダンボールシティの完成



きぐるみ「はれるん」



パネルの展示